地域医療介護総合確保基金（医療分）の概要

資料７

○ 「団塊の世代」が全て75歳以上となり、高齢化が一段と進行する2025年を見据え、国は、医療・介護サービスの提供体制改革を推進するための地域医療介護総合確保基金を創設。

○ 国から交付される交付金に県の一般財源を追加し県が基金を造成し、県が作成する計画に掲載された事業に活用する。（基金の負担割合：国2/3、都道府県1/3）

【基金対象事業】

１　地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備に関する事業
　・病床の機能分化・連携のために必要な事業

重点配分

２　居宅等における医療の提供に関する事業
　・在宅医療を推進するための事業

３　医療従事者の確保に関する事業
　・医師確保のための事業
　・看護職員の確保のための事業
　・医療従事者の勤務環境改善のための事業　等

（２・３について）国庫補助事業から当該基金に財源が移行した分が主となっている。

＊　27年度から「1」の事業区分に重点配分する方向性が示されるとともに、事業区分ごとに配分額が決定され、区分間の金額調整はできないこととなった。

【各年度配分額】

基金年度	1地域医療構想	２ 居宅医療	３ 医療従事者確保	総　額
26年度	0.0億円	17.2億円	19.3億円	36.5億円
27年度	15.5億円	0.2億円	14.7億円	30.3億円
28年度	19.6億円	0.1億円	14.3億円	33.9億円
29年度	15.7億円	0.2億円	14.8億円	30.7億円

基金を活用した主な事業

【27年度 】

１　在宅医療提供体制の充実事業

県内郡市医師会に「在宅医療連携拠点」を整備（ケアマネージャー資格を持つ看護師など福祉にも精通した看護師の配置、往診医の登録・患者情報の共有、医療面の相談体制、在宅療養支援ベッドの確保）

【28年度】

１　病床機能転換促進事業

２０２５年に大幅な不足が推計される回復期病床（地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床）へ転換を行う医療機関に対して、転換に必要な施設・設備整備費用を支援

２　ICTによる医療・介護連携ネットワーク構築事業

地域に必要な医療・介護関係者の多職種間における情報共有の効率化を図るため、地域一体となって関係者間で医療・介護情報を入力・参照できる医療介護連携システム導入を支援

【29年度】

１　在宅医療を担う幅広い分野の看護師の確保・育成

在宅医療の更なる推進のための訪問看護ステーションや介護施設の看護師の研修体制の充実

【30年度（予算案）】

１　地域包括ケア推進のための病床機能転換支援事業

病床転換のための研修会の開催及び経営シミュレーション経費の助成

病床機能転換促進事業について

○　地域医療構想で大幅に不足すると推計されている回復期病床（地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床）への転換を促進するため、28年度から補助事業を実施

29年度予算額　312，313千円

１　施設整備費補助

回復期病床を整備するために必要な新築・増改築及び改修に要する工事費又は工事請負費

※事業期間が複数年度にわたる事業も可

２　設備整備費補助

回復期病床を整備するために必要な医療機器等の備品購入費

【参考：地域医療構想の推計値】

医療機能	H27 病床機能報告	H37 必要病床数	過不足
高急性期	6,389	5,528	861
急 性 期	24,674	17,954	6,720
回 復 期	**4,023**	**16,717**	**▲12,694**
慢 性 期	12,552	14,011	▲1,459
無 回 答	2,385	—	—
合　計	50,023	54,210	▲4,187

【補助金額】

区分		基準額（上限額）	補助率
施設整備費	新築・増改築	転換病床1床あたり　４，313千円	1／2
	改修	転換病床1床あたり　３，333千円	1／2
設備整備費		1施設あたり　10，800千円	1／2

【補助金利用例】

○　施設整備費補助：リハビリ室の増築、
部屋の改修（１人部屋→２人部屋、４人部屋→２人部屋×２部屋）　等

○　設備整備費補助：リハビリ用具の購入、ベッドの入れ替え、
データ加算に対応するためのシステム導入　等

埼玉県病床機能転換促進事業実績

1　平成28年度実績

地域包括ケア病床		回復期リハ病床		合計	
病院数	転換病床数	病院数	転換病床数	病院数	転換病床数
8病院	162床	1病院	5床	9病院	167床※

※平成28年度内整備済病床のみ

［医療圏別］

医療圏	病院数	転換病床数	医療圏	病院数	転換病床数
南部			川越比企	1	42
南西部	2	24	西部		
東部	2	19	利根		
さいたま	2	56	北部	1	21
県央			秩父	1	5

2　平成29年度実績（内示）（平成30年1月現在）

地域包括ケア病床		回復期リハ病床		合計	
病院数	転換病床数	病院数	転換病床数	病院数	転換病床数
13病院	269床	2病院	60床	14病院※	329床※

※329床のうち平成29年度内整備予定数は229床
※14病院のうち1病院は地域包括ケア・回復期リハ両病床を整備

［医療圏別］

医療圏	病院数	転換病床数	医療圏	病院数	転換病床数
南部	2	18	川越比企	2	9
南西部	3	88	西部	3	68
東部	1	20	利根		
さいたま	1	58	北部		
県央	2	68	秩父		

3　平成30年度実施意向（平成29年7月アンケート）

地域包括ケア病床		回復期リハ病床		合計	
病院数	転換病床数	病院数	転換病床数	病院数	転換病床数
5病院	85床	3病院	40床	7病院	125床

※7病院のうち1病院は地域包括ケア・回復期リハ両病床を整備